

おかやまコープとわたし

高階 尚子

2023年8月1日午後、私は夫と一緒に買い物をするため、コープ総社東店に行きました。建物に向かって左側の入口から中に入り、障害のある私はコープのカゴをカートにのせ、何を買おうかとキョロキョロ見渡し、たくさん野菜ふたつをカゴに入れた時、突然ベルのような音がしました。「何かなあ？」と立ち止まって音の方を見ていたら、女店員さんが走ってこられ「カゴを置いてすぐ出て下さい」と言われました。何がなんだかかわからず「まだレジをしてない」と多くの人がレジの方へ行こうとされました。知人の男性もカゴにいっぱい品物を入れておられ「まだレジが・・・」と言われていました。「火事です。すぐ外に出て下さい」と女店員さんはあわてることなく、きつぱりと指示されました。みんな、しぶしぶ外に出て行かれましたが、煙も火も見えないので、何だろうという顔でした。私と夫は「消防車がきたら迷惑になるから車を移動させないといけないね。じゃあ帰ろう」と車を動かしませんでした。家に帰ってからテレビをつけてニュースを見ましたが、ニュースにも出ませんでした。

「本当に火事じゃったんかなあ？煙も火も見えんかったし、消防車もこんかったしなあ」「天井の方かなあ」「電気系統かもね」気になりつつ、冷蔵庫の中にある物で夕食をすませました。

コープ総社東は、今まで私の生活の一部でした。以前私達は岡山市北区足守に住んでいましたが、総社に移住してからは、買い物はコープ総社東店でした。仕事は岡山で、コープの閉店時間に間に合うようめどをつけ、週半数は、コープに行っていました。

総社の町をよく知らない私は、コープ総社東店と市役所、かかりつけの病院だけ知っているという生活でした。本当に恥ずかしい、井の中の蛙でしたが、コープ総社東店は、心のよりどころ、心のオアシスでした。品物もほとんど国産品で、輸入品には国名が記してあり、無農薬、減農薬、自然栽培の品が並んでおり、安心して買うことができるし食することができます。

料理の苦手な私は、時々料理のレシピが貼ってあるのを見て、ノートに書いて帰り、夕食の一品にしていました。

私は2年前の2022年4月4日に崖から転落し、大けがで頭、首、頸椎を損傷し、生命もあぶないと医師から言われたそうですが、倉敷の川崎医大に5か月入院、手術やりハビリのおかげでなんとか退院できました。

腕や手指が全く動かず、字が書きたくて右足の指にペンをはさんでもらって、足の裏が着く所に画用紙を立ててもらい、足の指でやっとな字が書けました。

腕は全く動かず、身体中が痛くて、いつも腕がパンパンにはれて横になっているので、田畑に立っているカカシのようでした。

現在は近くの2カ所のリハビリ施設に週3日通い、週1日訪問介護を受けています。今は指が少し動き、へたですが字が書けるようになりました。

自分では何もできないので、夫が家事すべてをしてくれています。時々気分転換と認知予防にと、買い物に連れて行ってくれます。

総社のコープは、まだ行けないので、ガソリン代を考えれば高い買い物だなあと言いながら、夫は倉敷のコープに連れて行ってくれています。時々総社のスーパーと併用しながら・・・。

障害者の私は、店内に入っても、どこにトイレがあるのか、障害者が利用しやすいか、買い物詰める台の高さや、休憩場所、子どもの遊び場など使いやすい広さか、イスなどのセッティングの仕方、駐車場に障害者用スペースがあるかどうか、あってもその位置は適切か、他の車や自転車が置いてないかなど目がいたり考えてしまいます。

倉敷のコープに行くと、時々総社のコープで仕事をしていたスタッフさんをお見かけします。とてもうれしくなって、挨拶したり、おしゃべりしてしまいます。

「コープ元気くん」を見つけた時は、とびあがるほどうれしくて、買って帰り、大事に、ゆっくりゆっくり飲みました。それ以後、倉敷のコープに行つた時は買って帰り、ボトルはきれいに洗ってとってあります。元気くんのボトルを使って何かオブジェをつくりたい。どうなるかわかりませんが、そんな事を考えてワクワクしています。

やさしい夫は、家事ができなくなった私に対し、文句もぐちも言わず、家事全般をしてくれます。本当に夫には感謝しかなく申しわけないと思つています。

早くコープ総社東店が再開してほしいと思う反面、再び災害がおきないよう、品物と同じように安心安全に利用できるよう十分チェックして、確実に安全性オーケーになった時オープンしてください。待っています。その日が一日も早く来ますように。祈っています。そして他のコープに行っておられるスタッフさんに、「会えて良かったね」と挨拶したいです。